

同級生交歓



(右から)

日本郵船常勤監査役

杉浦哲

ミライトホールディングス、ミライト代表取締役社長

鈴木正俊

中央労働災害防止協会理事長

八牧暢行

東京大学名誉教授、学習院大学国際社会科学部教授

伊藤元重

三菱電機顧問

梅村博之

我々は文武両道を掲げる静岡県立静岡高等学校で共に学び、在学中にA.F.S(交換)留学をして一年卒業が遅れた杉浦を除き、一九七〇年(昭和四十五年)に卒業しました。今年の卒業生は創立の旧制静岡中学から数え百三十二期にて、我々は八十六期卒業生となります。ということで、静岡高校卒業生の間では、まずは何期卒業生か、先輩か後輩かの立場を確かめた上で、そこから会話がスタートします。

そんな八十六期の東京在住の仲間で、東京大学経済学部教授だった伊藤を中心に、生の経済、経営の勉強会という名目で、定期会合を開いていました。その時のメンバー

が今回改めて、現在の伊藤教授の研究室がある学習院大学に集まりました。

当時は、日本郵船副社長の杉浦、NTTドコモ副社長の鈴木、JX日鉱日石金属副社長の八牧、三菱電機常務の梅村とそれぞれ分野は異なれど、経営者として伊藤の実業界への課題提起に大いに耳を傾けておりました。

やがて勉強会は定期的な飲み会へと変わり、その後、新たな同期メンバーも順次加わり、現在ではなくてはならない同期の懇親の場となっております。

我校の野球部は、一四年夏から春夏三季連続甲子園出場を果たす全国に知られた伝統あるクラブです。伊藤は吹奏楽部として、杉浦は応援部として野球部の活躍を全面的に支えておりました。八牧は陸上部にて全校マラソン大会では常に優勝。梅村は剣道部でムードメーカーの先鋒として、鈴木は地学部にて流星観測に打ち込みました。

今では其々が勉強会当時とは立場を変えておりますが、どんな立場となっても、静岡高校の校訓である「印高」(高きを仰ぐ)を常に共有しております。

(梅村)

東京・豊島区 学習院大学にて(撮影 本社・深野 飛季)